



平成 24 年 10 月 10 日

産業環境管理協会、タイプⅢ環境ラベルで米国機関と MOU を締結

産業環境管理協会（JEMAI）は 2012 年 9 月 25 日、米国の The Institute for Environmental Research and Education（IERE）と環境情報開示プログラムに係る相互協力に関する覚書（MOU）を締結しました（別紙 1）。JEMAI は、海外市場における日本企業の競争力強化に環境情報開示プログラムを貢献させるべく、この MOU を活用してゆく所存です。

IERE は、米国等においてライフサイクルアセスメント（LCA）手法の普及を担う非営利法人であり、米国最大規模の LCA 関連学会の開催運営、タイプⅢ環境ラベルプログラムや LCA 人材育成プログラムの運営、ライフサイクル思考に基づく自治体施策への協力などを行なっています。昨年度の経済産業省のカーボンフットプリント（CFP）制度試行事業における総括セミナーでは、IERE の代表者が講演者として招聘されました。



LCA 手法を用いて評価した製品のライフサイクルにおける環境負荷情報の開示は近年、世界的に CFP、環境フットプリントなどで高まっています。産業環境管理協会の運営するタイプⅢ環境ラベル（エコリーフ環境ラベルプログラム、注 1）はその先駆けともいえるプログラムであり、累積登録製品数は同様のプログラムの中で世界最大級です。この MOU を通じて IERE は日本の蓄積を活用し、米国でタイプⅢ環境ラベルを普及させたい考えです（注 2）。また、JEMAI は米国市場において我が国のタイプⅢ環境ラベルの認知度を高め、米国におけるグリーン購入のための製品環境アセスメントツールへの適用実績を増大させるなど、日本製品の国際競争力強化に貢献してゆく考えです（注 3）。さらには、両機関は継続的な連携により現在のスキームを日本、米国を初めとする国際市場のニーズに即した製品環境情報開示プログラムへと発展させてゆきます。

（注 1）国際規格 ISO14020 では環境ラベルをタイプⅠ～Ⅲの三つのカテゴリに分類しています。タイプⅢ環境ラベルに属するエコリーフ環境ラベルプログラムは経済産業省の実証化事業を経て 2002 年に JEMAI が運営を開始。2012 年 10 月現在累積登録ラベル数は約 1,100 件にのぼります。<http://www.ecoleaf-jemai.jp/>

（注 2）例えば一方のプログラムはもう一方のプログラムの経験を活用して環境負荷量の算定・公表ルールを効果的に作成するなどの連携が考えられます。

（注 3）現在、米国グリーン市場において LCA 情報の開示が重視され始めています。例えば、米国ではグリーン購入のための製品環境アセスメントツールである EPEAT において、イメージング機器とテレビジョンが新たな製品分野として運用に追加される予定です。これらの分野では、製品の LCA を実施しタイプⅢ環境ラベルの認証を取得していることでポイントが加点され、米国の自治体などにおけるグリーン購入に有利となる見込みです。

<本件に関するお問合せ先>

社団法人産業環境管理協会 LCA 事業推進センター 神崎、壁谷

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町二丁目2番1号

Tel:03-5209-7708 Fax:03-5209-7716 E-Mail: jemai-lca@jemai.or.jp

MEMORANDUM OF UNDERSTANDING
BY AND BETWEEN
THE INSTITUTE FOR ENVIRONMENTAL RESEARCH AND EDUCATION
AND
JAPAN ENVIRONMENTAL MANAGEMENT ASSOCIATION FOR INDUSTRY


The Institute for Environmental Research and Education (IERE) and Japan Environmental Management Association for Industry (JEMAI) are both environmental products decoration program operators, working primarily in North America and Japan, respectively. Both organizations are interested in harmonization for further development of type III declaration.


To this end we agree that

- There is a great deal of consensus already on how to develop and manage EPD programs
- EcoLeaf program of JEMAI and Earthsure program of IERE already share many aspects of their management systems.
- There will be differences in declarations developed in different parts of the world because local environments and values are different.
- Respects for these differences is the basis of any harmonization effort

We therefore agree to

- Examine our programs to see where they agree and where they differ
- Exchange opinions for vision of type III environmental declaration, regarding trends of industries and various disclosure schemes of product environmental information including both of our programs


Rita Schenck [date] 9/25/2012
IERE


Hiroshi Yokoyama [date] 9/24/12
JEMAI